

2018年 9月 子育てワンポイント

## テーマ「言葉の発達」

### 新生児は…

動物の叫び声にも似た泣き声で母親の注意を引きつけ、「ミルクがほしい!」「眠い!」などと訴え、周囲とのコミュニケーションをとります。

### 0歳児は…

「あ〜あ」「う〜」など喃語を話し始め、これは言葉の発達でとても重要な意味を持ちます。**発する声とにかく答えてあげましょう!**

子どもはコミュニケーションを学び相手に向かって話したくなります。



### 1歳児は…

発音の簡単な「ママ」「パパ」や動物の鳴き声を真似した「ワンワン」「ブーブー」といった言葉を使い始めます。また、大人の言葉を聞いて模倣する時期です。遊びを通しての理解が深まり、ままごとで使う道具や野菜など食べ物の名前も理解できるようになります。例えば「りんごはどれ?」と聞かれた時、「これ」と指差しをします。「りんご」と言えなくても何のことなのか理解できているのです。一緒に遊んであげること興味を幅を広げ、見たり聞いたり体験する機会を増やしてあげましょう。

### 2歳児は…

「ママ、だっこ」「ブーブー、きた」など言葉を2つ以上つなげて話すようになります。その後「ブーブー」と言っていたものが「バス」や「パトカー」になるなど少しずつ大人の言葉を獲得して行きます。

### 3歳過ぎると…

自己主張も強くなり意思の伝達や欲求も盛んです。「そして」など、つなぎの言葉も覚え文章が長くなっていき、**個人差**はありますが、4〜5歳までには、話し言葉が上手になってきます。

子どもたちの言葉の世界を広げていくためには、日常会話のみでなく、絵本の読み語りをするのも良いですね。話ができるようになると、子どもは見たこと、聞いたこと、体験したこと、考えたことをなんでも話したくなります。しかしその気持ちとは裏腹に言葉が見つけれず「え〜と…え〜と…」とつまったり、言葉が出てこないこともあります。**焦らず、ゆっくり**相づちをうって聞いてあげましょう。

**子どもが安心して話し、気持ちを伝えられる経験をたくさんさせてあげて下さいね。**